

平成 18 年度  
全関東学生ダートトライアル選手権大会  
結果報告書



早稲田大学自動車部

本年度も当部へご協賛いただきありがとうございました。先日 6 月 25 日に行われました全関東学生ダートトライアル選手権大会が無事終了いたしましたので結果報告を述べさせていただきます。当部男子団体は第 3 位という結果になりましたが、最後まで、接戦を繰り広げることとなりました。その模様は下記の戦評にて詳しくご覧ください。

## 大会当日のコンディション

日時：2006 年 6 月 25 日

場所：丸和オートランド那須

天気：曇り

路面：セミウェット



## 競技車紹介

男子車名：早稲田 WinmaxASSO スターレット男子

形式：EP82

エンジン：4E ターボ

ブースト：BLITZ DUAL SBC SPEC S

タイヤ：BRIDGESTONE

ブレーキ：Winmax Zelos

F DF1

R DR3



## ドライバー紹介

1st 佐々木 祐治

2nd 大野 圭祐

3rd 大谷 航太郎

という顔ぶれ。

彼らが部内選考を勝ち抜いてきた我ら自動車部の代表です。



## 戦評

大会前日に大きなトラブルもなく当日の朝を迎えることができました。天気も時折晴れ間を除かせるほどのコンディション。応援部の皆さんを迎えて準備万端です。

まずは慣熟歩行で路面の状況をつかみます。開会式を経ていよいよ出走です。

第 1 走者は本戦初出場の 2 年佐々木、1 本目のタイムは午前暫定で 13 位とまずまずといったところ。

第 2 走者は 3 年の大野、1 本目のタイムは暫定 9 位とこちら





もまずまずです。

第3走者は4年の大谷、午前での暫定は5位。1本目で調子をつかんで2本目に挑戦したいところです。

ここで団体の暫定結果は、3位と厳しい状態。



午後は気温も上昇し、路面コンディションも変化していきます。

第1走者佐々木の2本目、その変化を捉え切れなかったのかタイムをあげることはできませんでしたが、次回への課題を見つけることができたようです。

第2走者、大野は2本目で3秒のタイムアップを果たしチームに貢献します。

第3走者、大谷はさすが4年のベテラン、1本目のタイムをさらに2秒縮め、個人第2位につけました。

結局、団体では3位と優勝は逃したものの今回も全力を出し切り、次回広島へ向けそれぞれに課題点を見出すことができました。

